

## 岐阜県感染症発生動向調査（2018年第31週～第35週分、8月分）コメント

### 感染症全般（性感染症を除く）

平成30年9月19日

月番：澤田 明

#### <全数把握対象疾患>

- ・結核は、発症患者および潜在性結核感染症のいずれも前年同期までの累計と比較し報告数が減少しているが、毎週コンスタントに報告例がある。
- ・四類、五類感染症については、今のところ特別多いと思われる感染症はない。
- ・本年より全数把握対象疾患となった百日咳は、第35週のみ7例報告されている。
- ・麻疹患者の報告例はない。

#### <定点把握対象疾患>

- ・インフルエンザは、流行の兆しなし。
- ・RSウイルス感染症は、2017年と同様に（この時期に）増加傾向にある。
- ・感染性胃腸炎は、コンスタントに報告されているが、例年と同程度。
- ・ヘルパンギーナは、第32週をピークに収束傾向か？

- ・結核は、毎週コンスタントに報告があり、引き続き県民および医療者への注意喚起・啓発が必要である。
- ・RSウイルス感染症が増加傾向にある。県民への注意喚起が必要である。
- ・ヘルパンギーナは、第32週をピークに収束傾向にあるようだが、まだ収束とは言い難く引き続き県民への注意喚起が必要である。

## 性感染症

平成 30 年 5 月 16 日

月番：石山 俊次

### <全数把握対象疾患>

- ・後天性免疫不全症候群は無症候性キャリア 1 例（男性）の報告があった。  
本年累計は 16 例となり、前年同期累計に比べて 6 例多くなっている（対前年比 160.0）
- ・梅毒は男性 2 例、女性 3 例、計 5 例の報告があり、年齢別では男性が 2 例とも 30 代、女性は 20 代、30 代、40 代、各 1 例であった。  
本年累計では 45 例で、男性 27 例、女性 18 例（男女比 1.5）と、昨年累計の男女比（1.9）に比べて女性の発生比率が多くなっている。

### <定点把握対象疾患>

- ・性器クラミジア感染症：男女とも昨年の同期累計とほぼ同様の報告数である。  
以前から全国集計では 5～10 月にかけて多い傾向がみられているが、岐阜県においても現在のところ同様の傾向である。  
年齢別では、男性が 20 代～50 代、女性が 20 代と 30 代で、女性に比べ男性は幅広い年齢でみられている。
- ・性器ヘルペス：8 月は岐阜圏域から男性 2 例、女性 1 例の報告のみで、他の圏域からの報告はなかった。昨年も 8 月の報告は少なかった。
- ・尖圭コンジローマ：8 月は男性 10 例で 6 月、7 月に比べて増加、女性は 1 例のみ。
- ・淋菌感染症：8 月は男性 5 例で、女性の報告はなかった。男性では 4 か月同じ報告数が続いている。

<参考>

平成 28 年度 岐阜県医師会 性感染症実態調査結果（要旨）

（調査期間：平成 28 年 11 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日） 全数調査

対象疾患：梅毒・淋菌感染症・非淋菌性尿道炎・性器ヘルペス・尖圭コンジローマ  
毛じらみ症・性器クラミジア感染症・咽頭クラミジア感染症・HIV 感染症・  
エイズ、その他

- ・患者総数は 991 人で昨年度に比べて 35 名の増加。
- ・性別では、男性 474 人（47.8%）、女性 517 人（52.2%）で、昨年度と逆転。
- ・100 人以上の報告があった疾患は、性器クラミジア感染症 400 人（40.4%）、非淋菌性尿道炎並びに性器ヘルペス 121 人（12.2%）、HIV 感染症・エイズ 93 人（9.3%）の 4 疾病であった。
- ・年齢別患者数では 20 歳～34 歳の合計が 526 人で、全患者の約 5 割を占めた。
- ・男性の半数は 40 歳以上で、女性の半数は 29 歳以下であった。
- ・19 歳以下の年齢層では、男性は減少し、女性は昨年度、今年度と連続で増加していた。
- ・患者の職業は勤め人が、男性 383 人（81%）、女性 217 人（42%）で最多、女性は次いで、主婦、風俗関係、学生・生徒の順に多かった。このうち風俗関係は 55 人（10.6%）で、昨年度より 2 倍以上に増加した。
- ・感染源の調査にて、男性では風俗関係者からの感染が 131 人（27.6%）、女性では配偶者からの感染が 107 人（20.7%）でそれぞれ最多であるが、感染源不明が男性 142 人（30.0%）、女性 253 人（48.9%）と多く、女性は男性の 1.8 倍になっている。
- ・セックスパートナー（単数か複数か）の調査では、回答が得られた 485 人（回答率 48.9%）のうち、男性（241 人）は単数 94 人（39.0%）、複数 147 人（61.0%）、女性（244 人）は単数 206 人（84.4%）、複数 38 人（15.6%）と、女性は 8 割以上が単数であったのに対して、男性は 6 割以上が複数のパートナーを有していた。
- ・女性で複数のパートナーを有する 38 人は、風俗関係者が 18 人と約半数を占めていた。
- ・学生・生徒でパートナーを複数有する者が 10 人みられたが、男性が 2 人、女性が 8 人と圧倒的に女性の方が多かった。